

平成 18 年度中間決算ハイライト

株式会社 三菱UFJフィナンシャル・グループ

平成 18 年 11 月 20 日

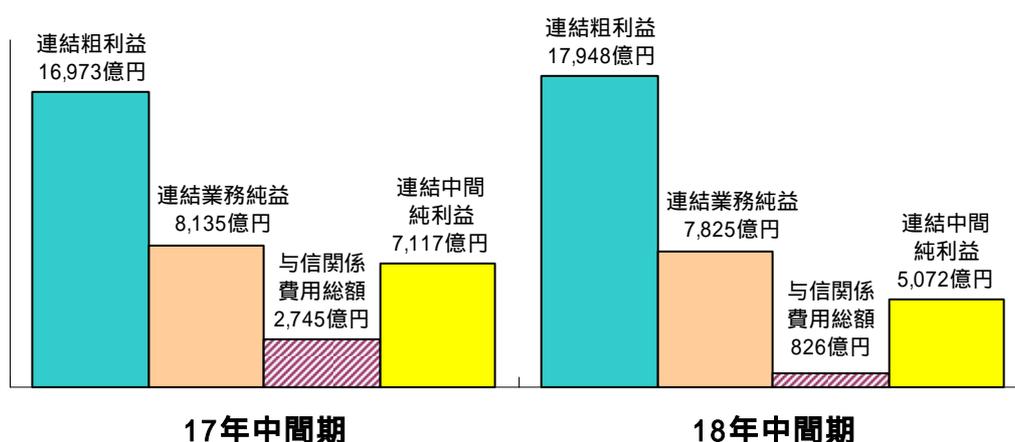
本資料には、当社又は当社グループの業績、財政状態に関する予想、見通し等の将来に関する記述が含まれています。かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記述されています。また、将来の予想、見通し等を作成するためには、一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし前提（仮定）は、その性質上、将来その通りに実現するという保証はなく、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離したりする可能性があります。そのような事態の原因となりうる不確実性やリスク要因は多数あります。その内、現時点において想定し得る主な事項については、最新の決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Report をはじめとした当社の公表済の各種資料をご参照下さい。

連結P / Lの状況

連結粗利益は、国債等債券関係損益が前年同期比 657 億円減少しましたが、投信関連収益が好調だったことや子会社の増加等により前年同期比 + 975 億円増加しました。

一方、子会社の増加等により経費についても前年同期比 + 1,284 億円増加したため、18 年中間期の連結業務純益は、前年同期比 309 億円減少し、7,825 億円となりました。

また、特別利益に計上される貸倒引当金戻入益が前年同期比 2,118 億円減少したこと等もあり、連結中間純利益は、前年同期比 2,044 億円減少し、5,072 億円となりました。



連結P / Lの状況

(単位: 億円)

	17年中間期	18年中間期	比較
1 連結粗利益 (信託勘定償却前)	16,973	17,948	975
2 資金利益	8,579	9,456	876
3 信託報酬 (信託勘定償却前)	657	794	137
4 役務取引等利益	4,840	5,574	733
5 特定取引利益 + その他業務利益	2,895	2,123	772
6 うち国債等債券関係損益	512	145	657
7 営業費()	8,837	10,122	1,284
8 うちのれん償却	-	44	44
9 連結業務純益 (信託勘定償却・一般貸倒引当金繰入前)	8,135	7,825	309
10 同のれん償却前	8,135	7,870	264
11 信託勘定償却	9	0	8
12 与信関係費用(臨時損益)	734	542	191
13 株式等関係損益	307	137	169
14 その他の臨時損益	336	784	448
15 経常利益	7,363	6,635	728
16 特別損益	3,244	1,707	1,536
17 うち貸倒引当金戻入	3,488	1,369	2,118
18 法人税等 + 法人税等調整額()	3,217	2,930	287
19 少数株主利益()	272	340	68
20 当期純利益	7,117	5,072	2,044
21 与信関係費用総額	2,745	826	1,918

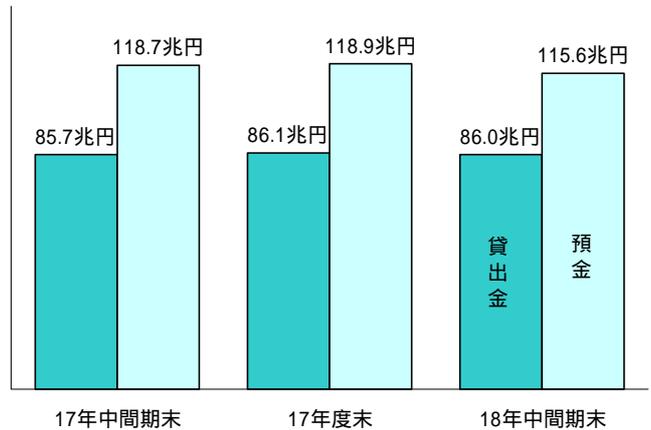
17年中間期は、旧三菱東京フィナンシャル・グループ及び旧UFJホールディングスの合算の計数を表示しております。

連結B / Sの状況

◇ 貸出金・預金

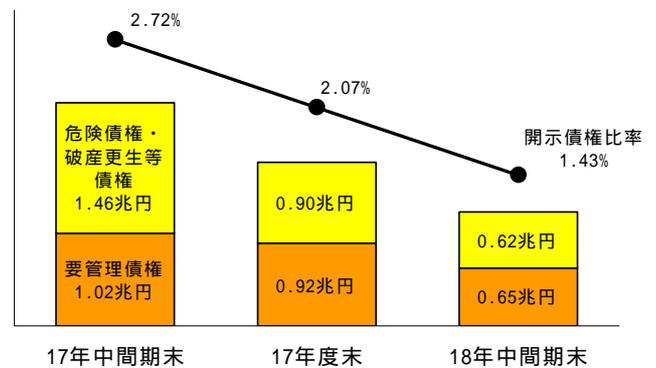
貸出金(含む信託勘定)は、国内店貸出が減少しましたが、海外店貸出の増加により、17年度末比略横這いの86.0兆円となりました。

預金は、金利上昇に伴う流動性預金の減少を主因として、17年度末比 3.3兆円の115.6兆円となりました。



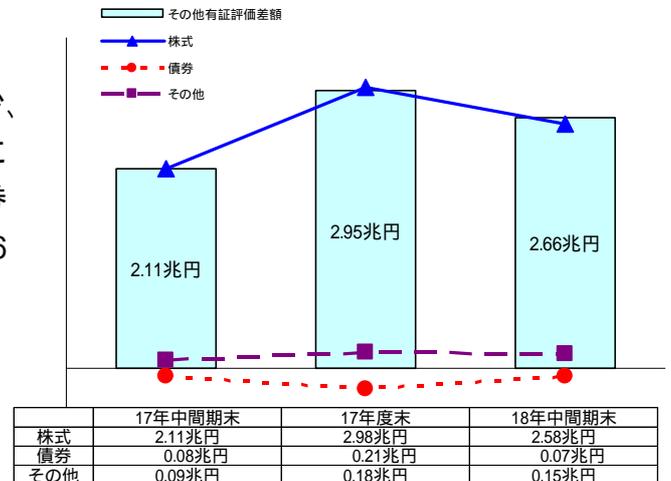
◇ 不良債権

開示債権比率は、新規発生(債務者区分下位遷移)を業況回復による債務者区分上位遷移が上回ったことや、処理の進捗等により、17年度末比 0.64ポイント低下し、1.43%となりました。



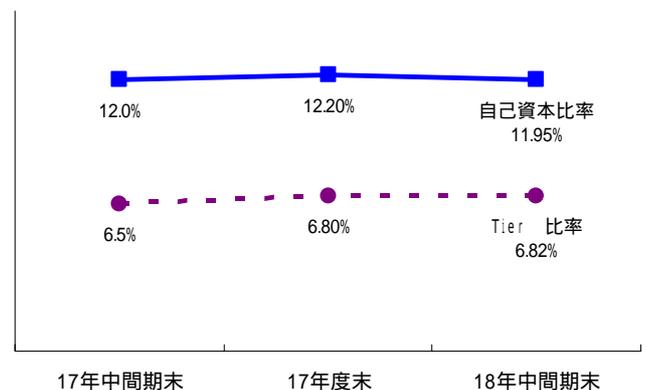
◇ 有価証券評価損益

株式相場の低下による株式の含み益の減少、長期金利低下による債券含み損の減少等により、有価証券の含み損益(その他有価証券評価差額)は17年度末比 0.28兆円の2.66兆円となりました。



◇ 連結自己資本比率(速報)

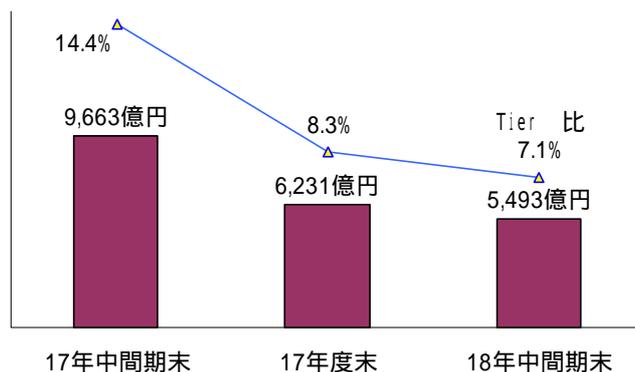
公的資金返済に際し、自己株式 2,870 億円の取得を5月に実施致しましたが、利益による資本の増加もあり、18年度中間期末についても、連結自己資本比率は11.95%、Tier比率6.82%と十分な水準を確保しました。



注：17年中間期末は、旧MTFG連結と旧UFJHD連結の合算(旧MTFGから旧UFJ銀行への出資7,000億円を除き、Tier算入額を再計算)を記載しております。

◇ 繰延税金資産

繰延税金資産の純額は、株価下落により有価証券の含み益に係る繰延税金負債が減少したものの、利益計上により欠損金の解消が進んだこともあり、17年度末比 738 億円減少の 5,493 億円となり、Tier に占める割合は 7.1%となりました。



平成 18 年度予想

連結当期純利益は、17 年度に計上された多額の貸倒引当金戻入益が、18 年度は計上されない見込みであることを主因として 17 年度比約 3 千億円減少し、8,700 億円を予想しています。

配当は、年間配当 10,000 円(うち中間配当 5,000 円、期末配当 5,000 円)を予定しております。詳細につきましては、11 月 20 日付ニュースリリース「平成 19 年 3 月期配当予想の修正について」をご参照下さい。

【三菱UFJフィナンシャル・グループ連結】 (単位:億円)

	平成18年度 予想	中間期 実績	平成17年度 実績	中間期 実績
1 経常収益	58,000	28,402	54,077	25,150
2 経常利益	15,000	6,635	14,333	7,363
3 当期純利益	8,700	5,072	11,817	7,117
4 普通株式1株あたり配当金(円)	年間 10,000	中間 5,000	年間 7,000	中間 3,000

【子銀行単体合算】 (単位:億円)

	平成18年度 予想	中間期 実績	平成17年度 実績	中間期 実績
5 業務純益 <small>一般貸倒引当金繰入 信託勘定償却前</small>	12,000	5,489	13,404	6,993
6 三菱東京UFJ銀行	9,500	4,261	10,877	5,796
7 三菱UFJ信託銀行	2,500	1,228	2,526	1,197
8 経常利益	11,300	4,856	11,784	5,680
9 三菱東京UFJ銀行	8,750	3,583	9,357	4,786
10 三菱UFJ信託銀行	2,550	1,272	2,427	893
11 当期純利益	8,450	5,354	12,822	7,125
12 三菱東京UFJ銀行	6,650	4,229	11,140	6,377
13 三菱UFJ信託銀行	1,800	1,125	1,681	748

連結P / Lの状況

(単位: 億円)

		17年中間期	18年中間期	比較
1	連結粗利益 =2+6	16,964	17,947	983
2	連結粗利益 (信託勘定償却前)	16,973	17,948	975
3	資金利益	8,579	9,456	876
4	信託報酬 =5+6	648	793	145
5	信託報酬 (信託勘定償却前)	657	794	137
6	信託勘定償却	9	0	8
7	役務取引等利益	4,840	5,574	733
8	特定取引利益 + その他業務利益	2,895	2,123	772
9	特定取引利益	808	1,338	530
10	その他業務利益	2,087	784	1,302
11	うち外為売買損益	1,437	1,164	273
12	うち国債等債券関係損益	512	145	657
13	うち金融派生商品損益 ^(単体合算)	6	508	502
14	営業費()	8,837	10,122	1,284
15	うち人件費 ^(単体合算)	2,053	2,104	51
16	うち物件費 ^(単体合算)	3,500	3,728	227
17	うち税金 ^(単体合算)	340	328	12
18	うちのれん償却	-	44	44
19	一般貸倒引当金繰入額	(4,364)	(1,103)	(3,260)
20	連結業務純益 =1-14+19	8,126	7,825	301
21	連結業務純益 (信託勘定償却・一般貸倒引当金繰入前)	8,135	7,825	309
22	連結業務純益 =2-14+18 (信託勘定償却・一般貸倒引当金繰入・のれん償却前)	8,135	7,870	264
23	与信関係費用(臨時損益)	734	542	191
24	貸出金償却	728	676	52
25	個別貸倒引当金繰入	(881)	(266)	(1,148)
26	特定海外債権引当勘定繰入額	(5)	(0)	(6)
27	その他の与信関係費用	5	134	139
28	株式等関係損益	307	137	169
29	株式等売却損益	400	316	84
30	株式等償却	93	178	85
31	その他の臨時損益	336	784	448
32	うちのれん償却	61	21	82
33	経常利益	7,363	6,635	728
34	特別損益	3,244	1,707	1,536
35	うち償却債権取立益	617	787	170
36	うち貸倒引当金戻入	3,488	1,369	2,118
37	うち減損損失	329	62	266
38	税金等調整前中間純利益	10,608	8,343	2,264
39	法人税等 + 法人税等調整額()	3,217	2,930	287
40	法人税等()	625	511	114
41	法人税等調整額()	2,592	2,418	173
42	少数株主利益()	272	340	68
43	中間純利益	7,117	5,072	2,044
44	貸倒引当金総額 =19+25+26	3,488	1,369	2,118
45	与信関係費用総額 =6+24+27+44	2,745	826	1,918

<主要グループ企業>

	粗利益	経費	実質業務純益	中間純利益	
46	三菱東京UFJ銀行 ^(単体)	9,425	5,163	4,261	4,229
47	三菱UFJ信託銀行 ^(単体)	2,225	997	1,228	1,125
48	三菱UFJ証券 ^(連結)	1,106	870	235	182
49	ユニオン・バンク・コーポレーション ^(連結)	1,568	987	580	398
50	UFJニコス ^(連結)	1,742	1,003	739	564

17年中間期は、三菱UFJフィナンシャル・グループと旧UFJホールディングスの合算の計数を表示しております。

連結B/Sの状況

(単位:億円)

	科目	17年度末	18年中間期末	比較
1	うち貸出金 (銀行勘定連結)	857,631	856,711	919
2	貸出金 (銀行勘定連結・信託勘定合算)	861,131	860,078	1,052
3	うち国内貸出 (除く子銀行の持株会社宛貸出金)	709,212	699,805	9,407
4	うち住宅ローン	182,447	174,065	8,381
5	うち海外支店	86,059	93,811	7,751
6	うち国内子会社 (UFJニコス)	9,472	10,259	786
7	うち海外子会社 (ユニオン・バンク・コーポレーション)	39,898	40,015	116
8	有価証券	485,089	477,664	7,425
9	うち株式	84,125	79,327	4,798
10	うち債券	312,384	301,197	11,186
11	うち国債	252,761	241,946	10,814
12	預金	1,189,880	1,156,029	33,851
13	うち単体合算	1,129,818	1,095,557	34,261
14	うち個人預金	602,178	599,067	3,110
15	うち法人預金その他	427,194	393,096	34,098
16	うち海外支店	92,704	95,488	2,783

有価証券の評価損益

(単位:億円)

	科目	17年度末	18年中間期末	比較
17	其他有価証券評価差額	29,532	26,668	2,864
18	うち株式	29,808	25,821	3,986
19	うち債券	2,101	710	1,391
20	うち国債	1,883	628	1,255

連結自己資本比率(速報)

	科目	17年度末	18年中間期末 (速報)	比較
21	連結自己資本比率	12.20%	11.95%	0.24%
22	Tier 比率	6.80%	6.82%	0.02%

金融再生法に基づく資産査定状況(グループ銀行単体合算、銀行・信託勘定合計)

(金融再生法に基づく資産査定の増減状況)

	16年度末	17年中間期末	17年度末	18年中間期末	比較 17年度末比	
23	破産更生等債権	2,814	1,956	1,523	1,250	273
24	危険債権	14,068	12,666	7,494	4,959	2,535
25	要管理債権	13,216	10,239	9,241	6,569	2,672
26	開示債権合計 A	30,098	24,862	18,259	12,778	5,480
27	総与信合計 B	902,718	911,545	880,982	887,408	6,425
28	不良債権比率 A/B	3.33%	2.72%	2.07%	1.43%	0.64%

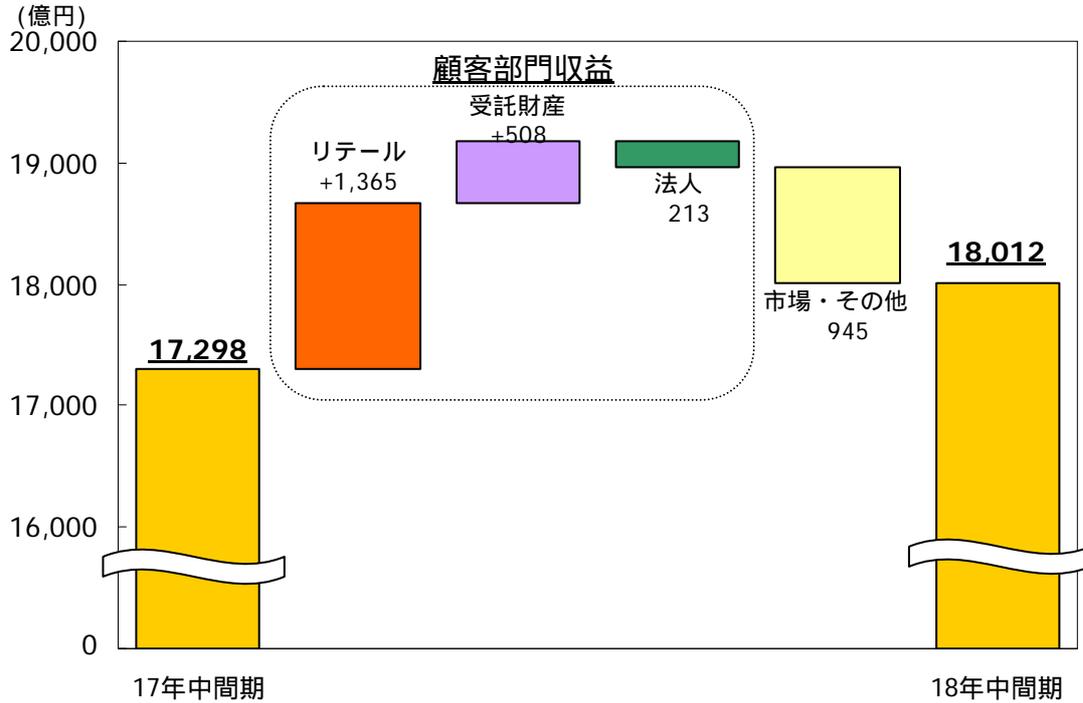
(自己査定における各債務者区分の引当率の推移)

	16年度末	17年中間期末	17年度末	18年中間期末	比較 17年度末比	
29	正常債権(債権全体)	0.17%	0.16%	0.19%	0.17%	0.02%
30	要注意先(債権全体)	16.97%	11.73%	10.86%	10.19%	0.67%
31	其他要注意先(債権全体)	11.44%	5.46%	5.17%	6.40%	1.23%
32	要管理先(債権全体)	31.01%	27.77%	25.17%	25.24%	0.07%
33	破綻懸念先(非保全分)	68.96%	72.40%	69.39%	65.61%	3.78%

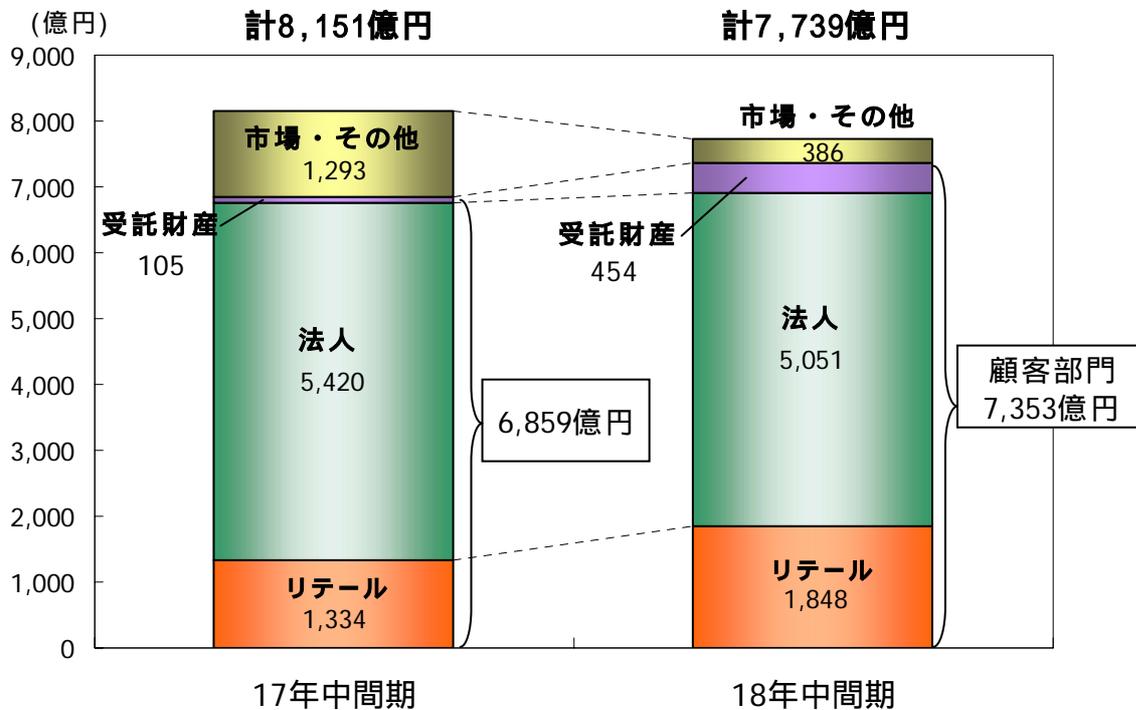
(注)1.対象科目は、金融再生法ベース(貸出金、外国為替、支払承諾見返、貸付有価証券、与信に関わる仮払金、未収利息)。
2.引当率は、分離子会社を合算し、信託勘定を除いて算出した計数を掲載。

ご参考：部門別損益(管理ベース)

【部門別粗利の増減】



【部門別営業純益推移】



営業純益は、連結業務純益の内部取引消去等連結調整前の計数(管理ベース)